



お帰りなさい！大川理恵さん(青年海外協力隊員)

平成12年7月から青年海外協力隊員としてエジプトの首都カイロで造形教育の指導にあたっていた大川理恵さん（北川原）が帰国し、8月1日（木）に来庁されました。たいへんお疲れさまでした。

今後「広報まさき」では、大川さんの派遣国での体験や感想を掲載したいと思います。お楽しみに。

第3回めだかの学校まさき開校

7月21日（日）、福德泉公園で約250名が参加して「第3回めだかの学校まさき」が開校されました。

これは、水辺の動植物に直接ふれあうことで、かけがえのない自然の大切さや、生き物に対するやさしさを目を向けてもらおうと計画されたものです。

子どもたちはもちろん、大人も童心にかえり公園内を流れる神寄川に入り、めだかを一心になって探し、すくうたびに大きな歓声をあげていました。

めだかをすくう以外にも、子育て支援センターとの連携により、ゲームコーナーや、ペットボトルを使ったの工作コーナー、レクリエーション協会によるバルーンアートのコーナーを設けたり、神崎地区の方々のボランティアによるかき氷の出店もありました。

また、水口さん（神崎）が大切に育てた、めだかや川えびをみんなで放流しました。皆さん、ありがとうございました。

今年は、子どもたちに生き物を育てることも学んでもらおうと、参加者にめだかサポーターを募集したところ多くの申し込みがありました。

めだかは元気に大きくなっているかな？

最後に、子どもたちがめだかの放流を行い閉校となりました。



▲カッパ夫婦登場！

▲あっ、ここにいるゾ

9月10日は「下水道の日」～下水道きれいな水へのかえりみち～

下水道ができると…私たちの街がきれいに！



1. 住宅周辺の生活環境をよくします。



2. 便所がすべて水洗便所になります。



3. 海や川や水路がよみがえります。



4. 大雨が降っても浸水しません。

9月10日（火）は「下水道の日」です。これは昭和36年に、著しく遅れていたわが国の下水道の全国的な普及を図るために「全国下水道推進デー」を定めたのが始まりです。その後、より親しみやすい名称として「下水道の日」となりました。下水道に対する国民の理解と関心を深め、下水道の普及とその十分な活用を促進しようとするものです。

現在、松前町は、都市化が進み、排水路などの水質汚濁や生活環境の悪化が進んでいます。松前町の下水道事業は、計画区域700ヘクタール、処理人口36,700人で、昭和62年度から着手し、平成14年度に筒井・浜の一部地区から供用を開始しています。

今後とも町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

役場下水道課業務係 ☎985-4126